

きょうと地域連携交付金 自己評価調書（令和5年度分）

団体名： 久御山町

(千円)

No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費 (実績額)		事業の実施状況 (主な実績等)	自己評価 (事業の効果等)
						交付金 充当額		
1	地域づくり連携推進事業	防災	防災・避難体制強化事業	<p><b>【事業の目的】</b> 災害を防ぎ、発生時にも被害を最小限に抑制する減災の仕組み作りを推進し、災害発生時に迅速かつ適切な対応が図れるよう、万が一に備えた初動体制等の充実や地域防災力の向上、また、避難行動要支援者などの災害弱者も含めた防災・避難体制の構築を図る。</p> <p><b>【事業の内容】</b> ・総合防災訓練、水害70年事業（気象予報士による特別講演、昭和28年の水害を教訓としたシンポジウム）を実施。 ・自主防災リーダーに対し、災害・避難カード作成にかかる研修を実施。 ・要配慮者対応にかかる防災用資機材等（避難所用簡易ベッド、簡易トイレ等）を整備。</p>	4,068	2,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>水害70年事業 参加者148人</li> <li>総合防災訓練 参加者738人</li> <li>自主防災リーダー研修会 参加者45人</li> <li>避難所用資機材の整備 折りたたみ式ベッド75台、自動パッキ式トイレ2台、蓄電池5台、投光器3台</li> </ul>	<p>昭和28年の水害から70年目の節目に、防災訓練及び水害70年事業を実施し、あらためて住民の防災意識の向上を図るとともに、地域の絆を深める取組とすることができた。</p> <p>また、自主防災リーダー研修会を出水期前に実施し、日頃からの備えに結びつけることで、防災の意識啓発を実施することができた。</p> <p>&lt;成果指標&gt; ・避難行動タイムライン作成自治会数 (R1~6) 目標：5自治会→実績：1自治会 ・自主防災リーダー研修会参加者数 (R1~6) 目標：240人→実績：137人 ・要配慮者対応にかかる防災用資機材等整備計画 簡易トイレ (R4~6) 4台/6台 簡易ベッド (R2~8) 300台/450台</p>
2	地域づくり連携推進事業	環境	くみやま環境共生・農家応援事業	<p><b>【事業の目的】</b> 環境基本法に示された考え方のもと、国や府の政策の動向、社会情勢等を勘案しながら、本町の環境行政のあるべき姿や方向性を明確化し、脱炭素社会の実現に向けた取組の推進を図る環境政策マスタープラン「久御山町環境基本計画(令和5年10月策定)」に基づき、環境への配慮、環境負荷の軽減等環境との共生による地域振興策を展開する。</p> <p><b>【事業の内容】</b> ・農業の省力化及び環境負荷の低減を図るため、スマート農業導入に係る経費を補助。 ・農業用廃棄ビニールの野焼き等の防止により、環境にやさしい農業を推進するため、農業者が処理業者と契約の上処理する費用を補助。</p>	614	300	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマート農業導入補助 2件</li> <li>農業用廃棄ビニール等適正処理推進事業補助 6件</li> </ul>	<p>事業の実施により、久御山クールドミノ戦略（久御山町地球温暖化対策実行計画）に掲げる温室効果ガスの排出削減に寄与した。</p> <p>&lt;成果指標&gt; 公共施設の温室効果ガス排出削減 (H25排出量比較) ・中期目標 (R8) 38.6%以上削減 H25 2,714t-CO<sub>2</sub> → R8 1,667t-CO<sub>2</sub> ・長期目標 (R12) 50.5%以上削減 H25 2,714t-CO<sub>2</sub> → R8 1,345t-CO<sub>2</sub> [R2実績 1,882t-CO<sub>2</sub>]</p>

(千円)

No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費 (実績額)		事業の実施状況 (主な実績等)	自己評価 (事業の効果等)
						交付金 充当額		
3	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	未来を拓く『ものづくりの苗処』事業	<p>【事業の目的】 商・工・農を対象に「久御山町第2期産業振興計画(令和元年度策定)」に基づき、「ものづくりの苗処」事業として、ブランドの知名度向上や各事業者の強みを活かしたPRの強化、販路拡大・取引先拡大の促進、新事業創出や企業間連携の支援に繋がる施策を実施する。</p> <p>【事業の内容】 ・全国茶品評会及び関西茶品評会への出品や入賞を奨励。 ・町特産農産物のブランド化や販路拡大を図るため、「くみやま夢タワー137」ロゴマークを利用した袋詰めフィルム等の作成費用等を補助。 ・ものづくりのまち久御山の産業振興を図るため、町内事業者が自ら開発、製作した製品の展示会等への出展料を補助。 ・農・商・工関連団体で構成される産業売込み隊の取組に対して補助。 ・創業者を集めてビジネスプランコンテストを開催し、採択事業の経費等を補助。 ・ふるさと納税を通じて町の知名度アップを図るため、返礼品とあわせて町内事業所を紹介するパンフレットやポスターを作成。</p>	6,374	3,100	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶品評会入賞報奨金支給 延べ11人</li> <li>・夢タワーロゴ活用補助 8件</li> <li>・展示会等出展支援助成 4社</li> <li>・産業売込み隊事業補助(府内の道の駅等との広域連携事業「食の京都」満喫祭実施等)</li> <li>・ビジネスプランコンテスト補助 1件</li> <li>・ふるさと納税パンフレット作成 5,000部</li> </ul>	<p>人材・後継者育成や創業支援に加え、本町の魅力や地域特性の情報発信の強化など、久御山町第2期産業振興計画アクションプランに掲げる「つなぐ・つながる・そだてるものづくりの苗処 久御山」の実現に向け、取組を進めることができた。</p> <p>&lt;成果指標&gt; ・展示会等出展支援 目標6社→実績4社 ・製造に係る資材等の町内調達率 R元：15.3%→R6目標：18%</p>
4	地域づくり連携推進事業	災害・犯罪からの安全	くらしの安全・安心推進事業	<p>【事業の目的】 安全・安心なまちづくりの推進のため、地域の防犯活動に対する支援を行うとともに、各種団体と連携して広域的な防犯対策の取組を実施する。また、安全なまちづくりのため町自治会と連携し、交通安全灯(LED)の新設等により道路の安全性の強化を図る。</p> <p>【事業の内容】 ・自治会防犯カメラ設置等補助 ・防犯カメラ設置&lt;町新規設置分&gt; ・交通安全灯LED新規設置 ・交通安全施設整備工事(通学路安全対策等) ・犯罪の防止・抑制を推進するため、子ども安全見守り活動など地域ぐるみの取組に対して補助。</p>	5,408	2,500	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会防犯カメラ設置補助 1自治会・2台</li> <li>・防犯カメラ新設 1か所・2台</li> <li>・交通安全灯新設 3灯</li> <li>・交通安全施設整備工事 4件</li> <li>・子ども安全見守り活動事業補助 3小学校区</li> </ul>	<p>防犯カメラの設置など、警察署や自治会等町内の防犯関係団体と密に連携して防犯事業を推進するとともに、交通安全施設の整備を進め、交通事故の発生抑制及び住民の交通安全意識の高揚を図ることができた。</p> <p>&lt;成果指標&gt; [防犯カメラ] ・町設置 32台/R7：37台 ・自治会設置 2台/毎年度10台</p>

(千円)

No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費 (実績額)		事業の実施状況 (主な実績等)	自己評価 (事業の効果等)
						交付金 充当額		
5	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	寄り添い型子育て支援強化事業	<p>【事業の目的】 子どもの発達支援において、妊娠期から幼児期まで、切れ目のない寄り添い型の支援を行い、発達障害等の早期発見に繋げるなど、子育て支援施策と相談支援を一体的に推進し、子どもを安心して育てられる環境づくりを進める。加えて、地域ぐるみで子育て家庭を支え、安心して子どもを産み育てることができるまちづくりを推進するため、「地域で子育てを推進する絆」を再構築する事業を重点施策として取り組み、地域と町による寄り添い型支援をより一層推進する。</p> <p>【事業の内容】 ・子どもの障害の早期発見及び健全な成長発達を図るとともに、保護者が就学以降の子育てに見通しが持てるよう支援するため、保健師と発達相談員による乳幼児期の発達相談対応から療育教室への通室案内まで、寄り添い型の支援を実施。 ・子育て支援NPO代表による講演会やパネルディスカッション、大学生と連携した工作教室などを実施。(地域子育てシンポジウム) ・地域で子どもに関する活動を行う団体に対し、安定した活動ができるよう支援。(地域子育てモデル事業補助) ・産後間もない母親等を訪問して育児用品を配付するとともに、育児不安や悩み等の聞き取りを実施。(はぐくみ定期便) ・妊産婦の新型コロナウイルス感染症の感染リスクを軽減し、安心して必要な医療や支援を受けることができるよう、タクシー料金の一部を補助。(妊産婦タクシー利用助成) ・子育て支援医療費助成の高校生までの無償化実施のため、福祉医療システムを改修。</p>	11,345	5,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>療育教室通室児童数 39人</li> <li>地域子育てシンポジウム 参加者59人</li> <li>地域子育てモデル事業補助 6団体</li> <li>はぐくみ定期便 延べ735件</li> <li>妊産婦タクシー利用助成 延べ129件</li> <li>子育て支援医療費の高校生まで無償化</li> </ul>	<p>地域と町が連携して、寄り添い型の子育て支援に取り組むことで、子ども達とその家庭を地域ぐるみで支え、安心して子どもを産み育てることができるまちづくりを推進した。</p> <p>&lt;成果指標&gt; ・療育教室通室児童数 目標：50人→実績：39人 ・妊産婦健診回数/人 16回〔産前14回+産後2回〕 ・産前・産後訪問支援員派遣回数 目標：212回→実績：207回 ・子ども家庭総合支援拠点での面談件数 目標：180回→実績：99回</p>
6	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	小・中学生学力アップ事業（「ゆめ☆スタ」講座等）	<p>【事業の目的】 「質の高い学力」の育成をめざし、基礎基本の定着のひとつとして個に応じた指導の充実を図るため、学力の充実・向上に向けての取組を推進する。中学生の学力アップ「ゆめ☆スタ」講座は開催箇所を増やすなど、生徒と保護者のニーズに合わせ、参加率向上の取組を進める。</p> <p>【事業の内容】 ・小・中学生少人数指導 ・町内のものづくり企業と連携し、企業の社員が講師として体験型授業を実施。(小学生ふしぎのはじまり体験事業) ・小学生学力診断テスト実施 ・中学生学力アップ事業（「ゆめ☆スタ」講座） ・中学生土曜塾プラス ・中学生英語検定補助</p>	20,147	9,188	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生ふしぎのはじまり体験事業 3小学校</li> <li>小学生学力診断テスト 2教科(国語・算数)×3校</li> <li>中学生学力アップ事業（「ゆめ☆スタ」講座）全20回・受講生徒延べ155人</li> <li>中学生土曜塾プラス 7回・受講生徒延べ110人</li> <li>中学生英語検定取得生徒 延べ287人</li> </ul>	<p>「ゆめ☆スタ」講座は生徒と保護者のニーズに合わせ、生徒が通いやすいよう2箇所で開催するとともに、長期休業中に加えて期末考査の時期にも実施し、土曜塾プラスは支援が必要な生徒の参加を積極的に促すなど、参加率向上に向け、実施手法を工夫して取組を進めた。</p> <p>&lt;成果指標&gt; ・ゆめ☆スタ 目標：20回実施・延べ200人 実績：20回実施・延べ155人 ・土曜塾プラス 目標：7回実施・延べ200人 実績：7回実施・延べ110人 ・英語検定補助 目標：延べ371人 実績：延べ359人</p>

(千円)

No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費 (実績額)		事業の実施状況 (主な実績等)	自己評価 (事業の効果等)
						交付金 充当額		
7	地域づくり連携推進事業	京都産業	がんばる農家応援事業	<p>【事業の目的】 都市近郊農業の優位性と交通の利便性を生かした、次代に継続・発展する農業体制づくりを推進するため、中核的担い手である認定農業者や農業団体を軸とした支援を行う。また、コロナ禍を経て、需給バランスの急激な変動など、農業の先行きの不透明感が増す中、持続可能な農業経営の支援を行う。</p> <p>【事業の内容】 ・生産規模や販路の拡大、法人化等のソフト事業の取組、生産の効率化に向けた機械等導入のハード事業の取組に対して補助。(認定農業者等応援事業) ・GAP認証審査費用を補助。(GAP認証補助事業) ・畑地灌漑施設(ポンプ更新)等の農業振興事業に対して補助。(農業振興施策対策事業) ・生産性の高い農業を支援するため、田で野菜等を作付けし販売した農家に対して補助。(産地確立対策事業) ・労災保険の特別加入者(特定農作業従事者・中小事業主等)に対して保険料の一部を助成。(農業者労災保険特別加入促進事業) ・有機堆肥づくりや化学肥料・農薬低減技術などで環境に配慮した農業を実施する農家に対して土壌分析費用を補助、JAが実施する廃棄ビニール回収処分事業に対して補助。(環境にやさしい農業推進事業) ・水稲生産で機械化が図れない零細農家の農作業を請け負う受託組織に対して補助。(水稲農作業受託組織等補助事業) ・農業者の経営力向上を目的に、GAPをはじめとした研修会を開催。(農業経営者研修事業)</p>	6,021	2,300	<ul style="list-style-type: none"> <li>認定農業者等応援事業 2件</li> <li>GAP認証補助事業 1件</li> <li>農業振興施策対策事業 3件</li> <li>産地確立対策事業 2件</li> <li>農業者労災保険特別加入促進事業 1件</li> <li>環境にやさしい農業推進事業 2件</li> <li>水稲農作業受託組織等補助事業 2団体</li> <li>農業経営者研修事業(GAP・JAS研修)参加者24人</li> </ul>	<p>第2期久御山町総合戦略に掲げる「次代に継承する元気な農業の振興」実現に向け、農業基盤・運営組織の強化、久御山産農産物ブランド化を推進した。</p> <p>また、需給バランスの急激な変動や異常気象など、農業経営の先行きの不透明感が増している状況において、GAP認証取得支援や田への加工米(酒米)や野菜の作付けに対する補助など、農業を取り巻く状況に応じた柔軟な支援策を実施した。</p> <p>&lt;成果指標&gt; [中核的担い手件数] ・第5次総合計画目標 現状(H26)50件 中間年度(R2)65件 目標年度(R7)70件 ・第2期久御山町総合戦略 R元:78件 R6目標:80件 ※R5実績:79件(前年度±0)</p>
8	地域づくり連携推進事業	交流と連携	久御山町公共交通補完事業	<p>【事業の目的】 交通不便地域の町内西地域(御牧地区)の利便性向上のため、バス路線大久保中書島線の路線を御牧地区の東一口を通るルートに変更した。また、町により運営している、町内移動に限定したデマンド型乗合タクシー(のってこタクシー)を特例運行として、京阪淀駅までの乗車を可能としている。</p> <p>【事業の内容】 ・バス会社と協議し、令和3年7月からバス路線(中書島・大久保線)を国道1号を通るルートに変更。スタートアップ支援として、2年間、運行経費の2分の1を補助。(バス路線(中書島・大久保線)ルート変更補助事業) ・町内の公共施設やバス停間の移動限定で運行しているデマンド乗合タクシー(のってこタクシー)について、令和3年7月から、町外の京阪淀駅までの乗車を可能とする特例運行を、バス路線変更と合わせて開始。(デマンド乗合タクシー(のってこタクシー)特例運行実施事業) ・事業の実施状況及び利用者の状況等を確認・検証するため、交通事業者や関係機関で構成する地域公共交通協議会の運営を補助。(町地域公共交通協議会補助事業)</p>	1,924	800	<p>&lt;バス路線大久保中書島線&gt; 「東いもあらい」乗車平均人数 ・近鉄大久保→京阪中書島(利用者数全体:242,909人) 12.5人/日 ・近鉄大久保→京阪中書島(利用者数全体:233,368人) 2.1人/日 &lt;デマンド乗合タクシー(のってこタクシー)&gt; (乗車人数全体:2,268人) 特例運行区間利用者:延べ245人 &lt;町地域公共交通協議会&gt; 3回</p>	<p>ルート変更後のバス路線、のってこタクシー特例運行ともに、利用者数は昨年度と比較してほぼ横ばいとなった。</p> <p>御牧地区を中心とした交通不便地域の課題解決に向け、地域公共交通協議会での議論に加え、地域住民参加のワークショップや勉強会を実施してきた。公共交通を支えるのは、行政による施策のみではなく、その地域の住民が利用する「支える機運を醸成する」という目標のもと、長期的な視点をもって事業に取り組んだ。</p> <p>&lt;成果指標&gt; [バス路線大久保中書島線] 「東いもあらい」乗車1日平均人数 ・近鉄大久保→京阪中書島 目標:12.0人→実績:12.5人 ・京阪中書島→近鉄大久保 目標:3.0人→実績2.1人 [のってこタクシー特例運行] ・特例運行区間利用者 目標:延べ200人→実績:延べ245人</p>